

● 内政

1 反汚職委員会、リビングストーン市長を聴取

反汚職委員会は、リビングストーン市長から事情聴取を実施した。昨年来報道されている汚職疑惑に関する事由と見られる。これを受け、ンコンボ地方行政・地方開発相は、同氏について選挙で選ばれているため解任等はできないが、捜査の阻害となるようであれば長期休暇を取得するよう促した。また、国際 NGO であるチャプターワン財団は、同大臣の発言は現行法としては正しいものの、法改正や倫理規定を導入するよう求めた。（2月4、13、14日付 News Diggers）

2 政府、今後3年間の国内債務借入計画を発表

財務・国家計画省は、今後3年間の歳入と歳出の差異を埋めるため、総額2800億クワチャ（約1.5兆円）の国内債務借入を計画していると白書内で発表した。これらの計画は適切な監査・モニタリングを実施する事で適時見直しを実施するとした。また、資金調達の方法として、官民パートナーシップの更なる活用も表された。（2月6日付 News Diggers）

3 ザンビア中央銀行、新札・硬貨を公表

ザンビア中央銀行は、2025年3月31日に新札・硬貨を導入すると発表した。新しい通貨には、6種類の紙幣（K500、K200、K100、K50、K20、K10）と6種類の硬貨（K5、K2、K1、50N、10N、5N）が含まれる。財務・国家計画大臣が近く、旧通貨を新通貨に交換する手続を定めた法定文書（SI）を発行する予定であり、現行紙幣と硬貨は法定文書で指定される時点まで法定通貨として使用可能である。（2月11日付 News Diggers）

4 国際 NGO、地方創生基金の拡充を止めるよう求める

国際 NGO であるトランスペアレンシーインターナショナル・ザンビアは、地方創生基金（CDF）について、基金拡充を止めるよう政府に要請した。予算の9割以上が管理部門の資金に充てられコミュニティ開発への資金充当が十分されていない事由などの不適切事象が監査総監報告書で報告されており、対策をせぬまま予算拡充することは公的資金の不正流用のリスクを高めるだけと評している。（2月11日付 News Diggers）

5 ザンビアの腐敗認識指数、改善

国際 NGO であるトランスペアレンシーインターナショナルは、2024年の腐敗認識指数を発表した。ザンビアの指数は37から39に上昇し、透明性の点で世界92位となった。ザンビアの指数が上昇したのは、ここ10年の中で2023年に続き2度目。他方で、トランスペアレンシーインターナショナル・ザンビアは、依然として課題は多いと評し、更なる改善を求めている。また同時に、ザンビア政治家の多くが NGO の各種調査結果について都合の良い選択的受容・反論を繰り返すことに苦言を呈し、データに基づいた政策を実施するよう求めた。（2月12日付 Times of Zambia・News Diggers）

6 ルサカ市民、ルサカ市の公共サービス提供の怠慢を訴える

ルサカ市民の代表者は、ルサカ市議会に対し、公共サービスの年次スケジュールの公開を要求する書簡を送付した。固定資産税などの地方税を納めているにもかかわらず、ルサカ市議会が提供すべきゴミ回収や排水路整備などの公共サービスが一向に実施されないことを問題視したもの。（2月16日付 News Diggers）

7 選挙管理委員会委員長、ザンビアでの選挙戦における買収行為を暗に認める

ザンビア選挙管理委員会（ECZ）委員長は、ジャーナリストとの懇談の中で、ザンビアの選挙では政治家が買収をするのみならず、投票者が政党に対して買収を逆提案する事案などが慣習化していると述べ、啓発活動の強化の計画とともに、全政党へ買収行為撲滅に向けた協力を求めた。（2月21日付 News Diggers）

8 大統領、閣僚及び政府高官の交代を指示

2月12日、22日及び26日、ヒチレマ大統領は閣僚及び政府高官の交代を指示した。閣僚級ではムチンガ州大臣・ルアプラ州大臣の交代を命ずるとともに、国民議院内副総務の交代も命じた。また、事務次官については多数の交代・更迭を命じた。（関連報道まとめ）

● 外交・対外関係

1 大統領、EAC/SADC 臨時サミットへ参加

2月8日、ヒチレマ大統領は、タンザニアで開催されたEAC/SADC臨時サミットへ参加した。会合ではコンゴ民主共和国東部の治安情勢について議論がされ、域内安定確保のための介入措置などについて議論がされた。大統領は会議後、Facebookに同域での即時停戦と交渉での解決を呼びかけた。（2月8日付 大統領 Facebook）

2 大統領、ナミビア初代大統領へ弔意表明

2月9日、ヒチレマ大統領はナミビア初代大統領であるヌジヨマ氏の逝去を受け、Facebookで弔意を表した。また、12日にはナミビア大使館へ弔問した。（2月9日、12日付 大統領 Facebook）

3 大統領、AUDA-NEPAD 首脳会合へオンライン出席

2月10日、ヒチレマ大統領はアフリカ連合開発庁－アフリカ開発のための新パートナーシップ

（AUDA-NEPAD）首脳会合へオンライン出席した。会合では、2025年4月にリビングストンで開催されるアフリカ技能五輪大会の開催準備について報告された。（2月10日付大統領 Facebook）

4 大統領、AU 首脳会合へ出席

2月13日から16日にかけて、ヒチレマ大統領は、エチオピアを訪問し、AU首脳会合へ参加した。その傍らで、ヒチレマ大統領はCOMESA・SADC主催イベントでのアフリカ開発銀行総裁選へのザンビア人候補者擁立のキャンペーンへ出席し、アフリカ貿易開発銀行（The Trade and Development Bank (TDB)）総裁、アフリカ輸出入銀行（Afreximbank）総裁、WTO事務局長、UNAIDS代表、エチオピア・アビィ首相、エジプト・マドブーリー首相らと会談した。（大統領 Facebook）

5 大統領、アフリカ信用格付機関の開設にあたり演説

項4に関連し、2月14日、ヒチレマ大統領はアフリカ信用格付機関（the Africa Credit Rating Agency (AFCRA)）の開設にあたり演説した。アフリカ独自の信用格付機関の設立を、アフリカの経済的課題に対処するためのより積極的かつ野心的なアプローチと評価し、公平な環境創出のための投資拡大、そして世界的金融システム改革を呼びかけた。（2月18日付 News Diggers）

6 大統領、エジプトを訪問

2月23日から25日にかけて、ヒチレマ大統領はエジプトを公式訪問した。訪問中はエルシーシ大統領との会談が実施されるとともに、ザンビア・エジプトビジネスフォーラムへの出席、医薬品会社の訪問や政府新庁舎の視察などが実施された。（関連報道まとめ）

（了）